

目次

- 1 はじめのうた
- 2 季節のカード (味覚編)
- 3 あそびうた さんかくのうた
- 4 今月の詩 青い眼の人形 野口雨情
- 5 たし算 同じ足し算
- 6 ことわざ 飼い犬に手をかまれる えびで鯛を釣る
 縁の下の力持ち 絵に描いたもち
- 7 うた 角度のうた
- 8 俳句 与謝蕪村 松尾芭蕉 小林一茶
- 9 かぞえうた 1房 1張 1杯 (ぶどう、太鼓、いか)
- 10 なぞなぞ
- 11 手あそびうた 大きなくりの木の下で
- 12 音の絵本 ネコ シマウマ ニホンザル パンダ トラ
- 13 イメージストーリー リード君 (第10話 お手伝い)
 (イメージしてみましょう)
- 14 今月のうた お手伝いのうた
- 15 おはなし したきりすずめ
- 16 童謡 青い眼の人形
- 17 漢詩 江雪
- 18 百人一首 僧正遍昭 道因法師 謙徳公 権中納言定家
- 19 復習コーナー
- 20 暗示 (静かなところで目を閉じて聞きましょう)

《さんかくのうた》

さんかく　さんかく　いろいろな　さんかく

みんなで　さんかく　へんしん　しょう

にとうへんさんかくけい
二等辺三角形　おにのつの　おにのつの

ふた
二つあわせてへいこうしへんけい
平行四辺形

ちよつかくさんかくけい
直角三角形は　おにのきば　おにのきば

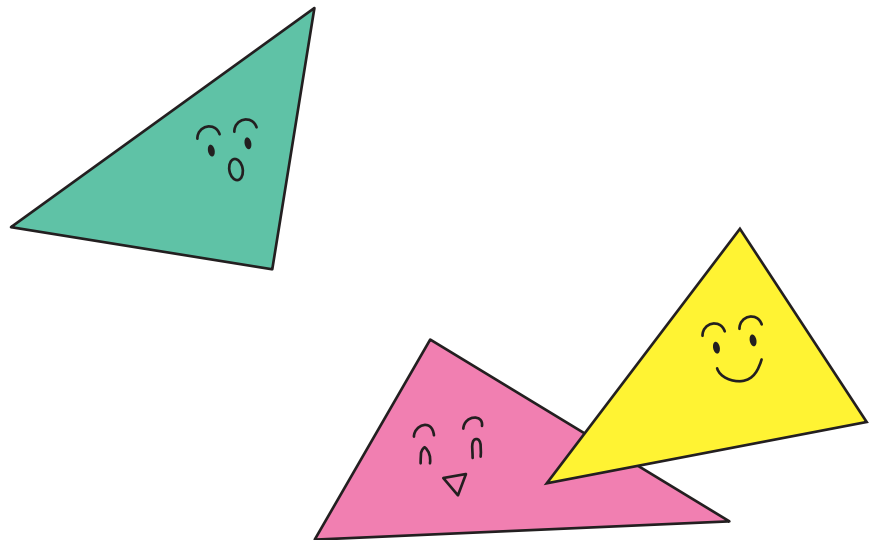
ふた
二つあわせてちようほうけい
長方形

ちよつかくにとうへんさんかく
直角二等辺三角で　ねこのみみ　ねこのみみ

ふた
二つあわせてせいほうけい
正方形

せいさんかくけい
正三角形は　いぬのみみ　いぬのみみ

ふた
二つあわせてがた
ひし形だ



あお め にんぎょう
青い眼の人形

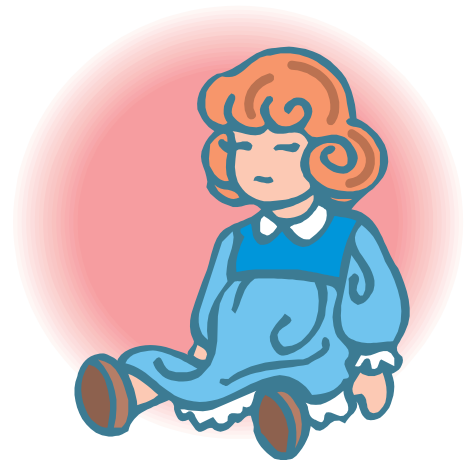
のぐち うじょう
野口雨情

あお め にんぎょう
青い眼をした お人形は
アメリカ生まれの セルロイド

にほん みなと
日本の港へ ついたとき
いっばい なみだ
一杯涙を うかべてた

「わたしは言葉が わからない
まご 迷い子になったら なんとしよう」

にほん じょう
やさしい日本の 嬢ちゃんよ
なか なか
仲よくあそんで やっとくれ
なか なか
仲よくあそんで やっとくれ



ことわざ

か いぬ て
飼犬に手をかまれる

ひごろ かわいがっていた者に、おもいがけずひどい目に
あわされること。



たい つ
えびで鯛を釣る

もとで ろうりよく おお りえき え
わずかな元手や労力で大きな利益を得ること。



えん した ちからも
縁の下の力持ち

たにん し ちから つ
他人に知られないところで力を尽くすこと。



え か
絵に描いたもち

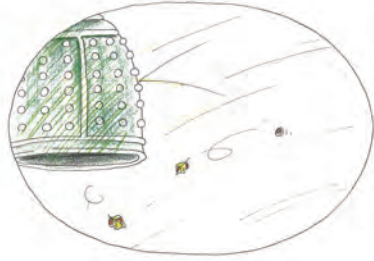
やく た じつげん ふか のう
役に立たないこと、実現不可能なこと。



俳句

こがらし かね こいし を ふきあてる
木枯や 鐘に小石を 吹きあてる

よきふそん
与謝蕪村



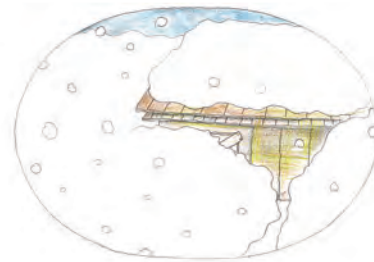
はつゆき すいせん は たわむまで
初雪や 水仙の葉の たわむまで

まつおばしろう
松尾芭蕉



これがまあ ついのすみか ゆきごしゃく
これがまあ ついの栖か 雪五尺

こばやし いっさ
小林一茶



なぞなぞ

- 1 パンはパンでも、^{なが}長い^て手がついた^{だいどころ}台所にあるものなあに？
- 2 ^{くち}口から^{みず}水を^の飲み^こ込んで^{はな}花をくわえてたっているものなあに？
- 3 すいすいすべりながら、^{ようふく}洋服のしわをのばしてくれるものなあに？
- 4 ^{なが}長い^{はり}針と^{みじか}短い^{はり}針がいつもかけっこしているものなあに？



《^{おお}大きなくりの^き木の^{した}下で》

① ^{おお}大きなくりの



^て手を^{した}下からあげ、
あたまの^{うえ}上でわをつくる

② ^き木の



^て手をあたまに

③ ^{した}した



^て手をかたに

④ ^でで



^て手をおろす

⑤ あなたと



あいてをゆびさす

⑥ わたし



じぶんをゆびさす

⑦ なかよく



^てかた手ずつ、むねの
まえにあげこうささせる

⑧ あそびましょう



からだをゆらす

⑨ ^{おお}大きなくりの
^き木の^{した}下で

①～④をくりかえす

音の絵本

今月は、いろいろな鳴き声です。

- 1) ネコ
- 2) シマウマ
- 3) ニホンザル
- 4) パンダ
- 5) トラ



ネコ



トラ



ニホンザル



シマウマ



パンダ

《お手伝いのうた》

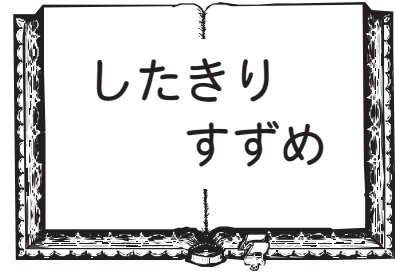
お手伝い お手伝い お手伝いって たのしいな

おいしいごはん きれいなおへや
みんな 誰かが やっている
お手伝いに チャレンジだ

ぞうきん使って ふけるかな
まどガラスに ゆか たな 床に棚
きれいにお野菜 洗おうよ
じゃがいも にんじん ピーマン

お手伝い お手伝い お手伝いって たのしいな

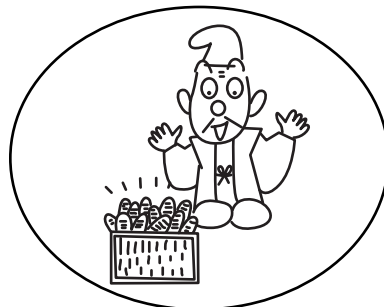
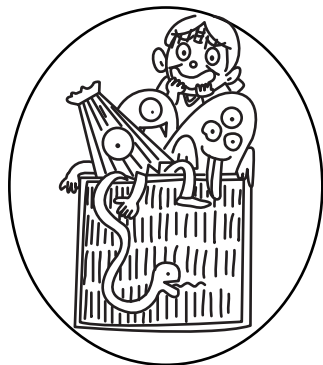




「したきりすずめ」は、すずめとやさしいおじいさん、
欲張よくばりなおばあさんのお話はなしです。

お話を聞いた後あとで、質問しつもんにこたえてみましょう。

- 1 おじいさんは、どうして子雀こすずめを家いえに連れてきたのですか。
- 2 糊のりを食べた子雀こすずめに、おばあさんはどうしましたか。
- 3 おじいさんがもらったつづらには、何なにが入はいっていましたか。
- 4 おばあさんがもらったつづらには、何なにが入はいっていましたか。
- 5 大事だいじにしていた糊のりを全部ぜんぶ食べてしまった雀すずめを、あなただったらどうしますか。



江こう

雪せつ

柳宗元りゅうそうげん

千せん山ざん 鳥とり 飛とぶ こと 絶たえ
 万ばん径けい 人じん 蹤しよう 滅めつす
 孤こ舟しゆう 蓑さ笠りゆう の 翁おう
 独ひとり 釣つる 寒かん江こう の 雪ゆき



あま 天つ風
くも 雲の通ひ路
かよひ 吹き閉ぢよ
お 姿を とめ の しばしとどめむ

(僧正遍昭)

おもひ 思ひわび
いのち 命は あるものを
う 憂きに たへぬは 涙なりけり

(道因法師)

あはれとも
いふべき人は 思ほえで
み 身のいたづらに なりぬべきかな

(謙徳公)

こ 来ぬ人を
ま 焼くほの浦の 夕凧に
や 藻塩の 身もこがれつつ

(権中納言定家)



僧正遍昭